京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價 一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料 五號活字一行金五十錢 特別廣告 [illegible]
發行兼編輯人 高木久太郎
印刷人 松久錦一郎
發行所 京城西小門通 京城新報社 電話六三番
仁川支局 仁川宮町三丁目 電話二一一番
東京支局 東京市京橋區南佐柄木町七番地

清州通信

△城壁取毀の不始末 [illegible]

◆岩重教監の美擧　清州普通學校に於ける状況に付ては更に報導する處あるも今其概況を報導せんに當地管内に於ける新附國民の一般は併合以來特に聖恩の厚なきに感泣し各自其專業に精勵しつゝあり殊に同校に於ける生徒父兄の如きは同校教監たる岩重善太郎氏が温厚篤實にして恰も親子の如く能く學童を撫育し專心教育事業に貢獻する其心事に敬服し深く愛慕し居ると共に就學者は逐日增加するの現況なるを以て同教監岩重氏は此際教育及衛生思想普及の須要なるを認め豫て當地慈惠病院の保管に屬する幻燈器械を借り受け先以て同校生徒及び父兄を招き傍ら慈惠醫院長[illegible]氏に其説明方を懇[illegible]

肺結核の豫防(六)

贊化病院 河野作藏

◆肺結核の傳染

[illegible]虚弱であるから其子は强壯でない强壯でないとすれば肺結核に罹り易い此點より云へば肺結核の遺傳素質と云ふことを認めなければならぬが然し是れは肺結核患者に生れたる薄弱なる体質のみに限るのではない他の病氣で親が虚弱であつたなら其子は矢張强壯でない從て肺結核に罹り易いので特に結核患者の子孫が肺結核に罹り易い素質を以て居ると論斷することは出來ないのである、是等は先天的であるが後天的にも斯かる素質となることがある即ち小兒が不注意に哺育され例へば百日咳とか麻疹とかに罹り病後の注意不充分なりし爲め肺結核に罹り易き素質を作ることである、先天的後天的結核素質があつても傳染機會がなければ肺結核になるものではない茲に於[illegible]得べきものである[illegible]するのである處で其[illegible]べきものは總括して[illegible]並に營養障害であるが[illegible]麻疹、百日咳、流行性[illegible]血液及心臟病、マラリ[illegible]病、外傷、等でも倘[illegible]は麻疹、百日咳の如き[illegible]であるが此等は呼吸器[illegible]の障害を來す爲め結核[illegible]し得るのである又已に[illegible]完素作用を逞くするの[illegible]潜伏して居つた結核菌[illegible]見につき實驗するので[illegible]充强壯であつたものが[illegible]病た後に著しく虚弱と[illegible]

漫筆 風行錄(三)

天人見

◉近來、内地同胞の、朝鮮視察として入來する者頻々として相踵ぐ、曰く政客、曰く官人、曰く操觚者、曰く教育者、曰く宗教家、曰く實業家、曰く金貸業、曰く何々、殆んど社會の各階級を網羅す。洵に以て慶すべき也。

◉或は統治に、或は殖産に、或は交通に、或は教化に、各々其實際に看取し、之を批評し、之を研覈し、以て母國に紹介し、以て當局に協助する所あらば、則ち我新版圖の進運を促成し、永遠の保全を確立する所以、洵に以て祝すべき也。

◉然も、徒らに其皮相を瞥過し、漫りに當路の聲言に輕信して、半島の面目を譁然視するのみならず、延いて齒藉の紹介を母國に致すが如き以、反りて統治の本義を沒却し、之が茶毒するものと謂はざるべからず。

◉官に、職に、當局に在る者、亦思ひを這個に致し、漫りに表面の治績のみを誇言せず、内情、裏相の眞狀を吐露し、以て視察者の所見、聽く所なからしめず、要は唯、主客倶に胸襟を披き、互に其衷情を識るに在る而已。

◉總督府醫院の完備を稱する者あり。吾儕亦院長藤田氏以下の熱誠は是を知る、然も果して醫員、看護婦に其人を得たる歟、萬般の施設、其宜しきを得たる歟、抑又、病者を診療するに忠なるか、吾儕、未だ遽かに其完備を稱する能はざるものある也。

◉聞く、一人あり、腸チブスの疑ひありとて傳染病隔離室に收容せらる。爾來二十日を經過したる今日、未だ能く診斷を決定するを得ずと、醫員の無能も驚くべし。而して疑ひの一事を以て、濫りに傳染病室に收容するに至りては横暴更に驚くべきに堪へたらずや。

◉一人あり、某科に就きて診療を受くべく、傍に鮮人助手と看護婦と在り、迭ひに相目し、評笑して止まず、是より一人誓へて總督府醫院に醫療を受けず、と。

◉是等は僅かに一些例に過ぎざるも、院の事態は概ね斯類也、内は則ち、院長の熱誠を傷け、外は則ち仁術の本旨に悖るもの、斷乎として戒飭を加へざるべからず。

◉吾聲錄に、政事に就て言はざることを聲明す、而して今や如上の言あり、聊か食言の嫌なきに非ざるも、亦、天人見が持病の起れるに外ならず。

◉時、且に溽暑に入り、蚊、蠅の煩に惱殺されんとす、宋の歐陽修が憎蒼蠅賦、明の方孝孺が蚊對記、共に會心の文字也、讀過忽ち涼風起り、爽興、腋下に如くを覺ゆ矣。

召使れ初

第六十九回

黑法師



「こりや早や怪しからぬ御口上、承はりまする」と德兵衛は目をぎろつかせ「れ察どのは現在あなた樣御所望で、只今御殿へ上らせう折柄でござりまするに、其處を見込んで、宿の妻に申し受けたいなど、思はぬことと仰せ遊ばすは、御酒御機嫌でござりまするかな、よもや御本心で仰せなさせられるでもござりますまいな」

「いや、異ちや、飽くまでも眞實ちや、取持を賴む」と佐十郎は莞爾ともせず

「本心で仰せござりまする、……あなた樣御本心と仰せござりますれば、私も本心で御返事申し上げまする、あなた樣それ察どのと什麼樣のれ約束でござりませうとも又什麼樣の理由でござりませうとも、この御縁談は協ひませぬ、誰方が什麼と仰せござりましても、この德兵衛が不承知でござります」

「呀」と佐十郎は目の色を變ね「其許不承知と、拙者申す縁邊、その許不承知と仰せちや喃」

「いかにも御意、聞くこと罷りませぬ」

「ならぬとて此まゝ置かうか、浪人なれど、武士、一たん云ひ出した事後へは退かぬ」と佐十郎は儼然れ察の方を向き「汝文字否やはあるまいの」

れ察は悄れて詞もなかりき

「れ察どの、れ察どの」と佐十郎は手を取らんばかりに進み「拙者云ふ事れ聞入ござらぬの」

「佐十郎、此方」にれ力は慄ふ聲を噛みしめつゝ「そりや什麼とした事いよぞ、理不盡縁談神も佛も、現在親も許しのない縁談、什麼として成ると思ふ左樣の事いふ暇で、何故心の歪みを直さぬ、心の歪み直つて、眞人間の仲間へ入れば、此方から申すさども、嫁御察はいくらもある、左樣なこと云ひ張り、德兵衛殿御氣分を惡くしたら、廣い世界にろなたの世話を致し呉れる者絶ゆるぢやぞ、篤と考ね、沈と胸に手を置いて考ねねばならぬぢやぞ」

「誰の許しなくても構ひませぬ、乞丐非人に零落しても構ひませぬ、江戸ばかりに日は照らぬ、れ察どの同道、京大阪へも立ち越ね、立身の道得る心でござります」と佐十郎は狂氣の如く「德兵衛どの、媒介を賴む、それが爲らずば、れ察どの此まゝ出發、御同道下さるまいか」



酒にこそ魂は奪はれたれ、是まで女に掛り合ひたる事もなきに、心ある樣も見ねざりしに、況してれ察に對し、突如として難題、突如として縁談の事を云ひ出で、一歩も退く氣色もなく決斷眼になりていふ、その樣子の常ならぬに現在母のれ力さへも驚いて、少時詞なきはさなりき

「私、さうはなりませぬ」とれ察はきつぱりしたる聲

「ね、ならぬと……此方なるぬと仰すちやな」

「小身ながら松田助八娘、親の許さぬ淫奔は致しませぬ」

「れゝ、さらば此方、拙者の恩義を忘却あらせたの」

「恩義は忘れませぬ、なれど私……」

とれ察は儼然容を改めて「……かれの約束いたした覺ねござりませぬ」

「什麼と云ふ、ねゝ、什麼といふ」頬骨高く痩せ見ねたる佐十郎の面上には、怖しきまでも殺氣立ちぬ、彼は

「我等恩義を忘却、斯はどまでに云ふを聞かぬとあれば、拙者にも思案がある、さ、立て」

佐十郎はつッと寄りて、れ察の手頸を握りたり、素破事よと德兵衛は眼を睜る、れ力は悄れながら捨ても置かれず「佐十郎什麼とする、不禮あらば此の母が承知せぬ」

佐十郎も、此上理不盡の振舞あらば德兵衛は大聲揚げて、店の者大勢を呼び入れん心なりき



廣告

工事請負入札
一 馬山重砲兵大隊中隊附士官宿舍土壘築設其他新設工事
右入札ニ付ス六月五日ノ總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮駐剳軍經理部

●看護婦及看護婦見習生 若干名
右採用す志望の者は本社仁川支局へ至急申込まるべし

解雇廣告
牛乳配達人
松村發智
牧野清助
吉谷菊次
山本藤吉
右の者不都合の行爲在之解雇候間自今當場と一切關係無之候此段廣告候也
六月二日
南大門外 荒井牧場

名譽銀牌受領
キリンビール

秘密嚴守　誠實機敏
諸公債 株券 現物 定期 賣買
大阪東區今橋二
大阪株式取引所仲買人 西村義之商店
京城明治町一丁目
西村京城支店 電話一一七六 一九二七番
仁川外海岸
取扱店 笠目仲買店 電話一六三番
龍山本町三丁目
取扱店 西村出張所 電話一二〇番
致富の捷徑及株式便覽御希望の方は御申込次第進呈可致候

土地建物鑛山株券賣買
小林藤商店
一 擔保及確實なる債權に對し低歩貸金す
一 漢江上流に在る赤松長五六間のもの二十萬本余賣物あり
一 市内適當の場所にて印刷業老舖機械附屬品全部讓り物あり
一 良質の石綿山黒鉛鑛歩止まり好き金鑛賣物あり
一 水田畑及市内宅地割安の賣物あり
一 電話賣物あり
京城[illegible]町三丁目　電話六五五番

蚊帳の必要正に急なり
最新式縫目なし染分蚊帳菊水枕蚊帳を初めとして關戸蚊帳株式會社特製品全部ピンデ入らず旅行便利かやに至る迄色々取揃へ蚊帳なら唐川へとの御評判を益々發揮致し充分勉强致します
今回は特に六月五日より六月二十日迄現金に限り正札より五歩引と致します
殊に地方よりの御注文は御安心遊ばす樣最も迅速に御發送致します
京城明治町一丁目 (電話二六二番)
唐川呉服店蚊帳部

第五回(六月四日)當籤廣告
第一種 登錄番 九十五號
第二種 登錄番 四十二號
第三種 登錄番 九十二號
第四種 登錄番 一號
第五種 登錄番 九十二號、百二十號、二百三十八號、三百五十八號、四百七十六號
六月四日
京城時計興振會

東京電報（五日發）

▲皇后陛下能樂御覽 竹田宮恒久王同妃昌子内親王兩殿下御主催の下に靖國神社納樂堂に於て來る十日能樂會を催さるゝに付皇后陛下には當日午前九時三十分行啓能狂言を御覽遊ばさる由漏れ承はる

▲丁年華族拜謁 丁年に達したる華族の當主又は華族の嗣子に對し宮中の御都合に依り近近拜謁仰付られ天杯下賜あるの趣にて宮内省宗秩寮にては目下夫々人員調査中なり

▲本年麥作豫想 農商務省の調査したる四十四年度麥作豫想高は全國總計二千十七萬九千七百九十石にして之を前年に比すれば五十六萬八千五百四十五石即ち二歩八分を增加せり

▲日本鐵道計劃 我國に於ける鐵道既成線路は國有及私設會社線を合し現在六千哩に過ぎざるも鐵道院の目下調査中なる豫定線及び豫想線全部を合すれば其延長約二萬二千哩に達すべく明年度中に如上諸線の實地調査を行ひ確定せる線路網を發表し同時に諸線の内鐵道院にて布設すべきもの及民間にて經營すべきものをも發布すべき筈なり

▲濟生會寄附見込 今五日桂首相官邸に開催の恩賜財團濟生會世話人會にて六都市の基金の醵出額決定したるが其內譯は東京八百万圓大坂五百萬圓橫濱三百万圓京都名古屋神戶各二百萬圓にして總額二千百万圓の見込なるが少なくとも二千万圓を下らざるべし

▲清實業團來朝 清國實業家約五十餘名は今回極東考察實業團なるものを組織し來る十月七日上海より本邦來着約四十五日間の豫定にて最近日本帝國興隆の素因たる新文明の施設殊に商工業の實狀及實業教育等を眞面目に視察研究せんとするに在り

雜報

●寺刹令の大要

制令第七號を以て六月三日發布されたる寺刹令の要項は寺刹を併合移轉又は廢止せんとするときは總督の許可を得べく寺刹の基址伽藍は地方長官の許可を得ざれば傳法布敎法要執行僧尼止住の目的以外に使用し難く其本來關係僧規法式等必要なる寺法は總督の認可を受くるを要し尙寺刹には住持を置くべく寺刹に屬する土地森林建物佛像石物古文書古書畫其他貴重品は總督の許可を受くるに非ざれば處分する事を得ざる等なりと

●道長官會議重要問題

來月一日より總督府に於て開會の筈なる各道長官會議に提出さるべき諸問題は目下各部に於て審査立案中なるが某當局者の談によれば本年度道長官會議に提出さるべき各種問題は多種あれども中にも重要なる問題は一各道々路改修に關する件二普通學校急設に關する件三模範的農場を設置する件四農事改良に關する件五鑛山事業獎勵に關する件六各道の植林獎勵に關する件七漁業及蠶業獎勵に關する件其の他貯蓄勤儉等に關する事等なりと

●トロール漁業禁止區域

今回發布されたる新漁業令によれば汽船及帆船にてトロール漁業をなす區域は咸北豆滿江口より江原道ゞ慶北道の境に至る沿海中元山灣の松島岬より水源端に至る間を除く一帶及黃海道白翎島角より平北の國境に至る沿海一帶との二ヶ所にして其他は凡てトロール漁業を禁止する事となれり

●官鹽一手販賣問題 復々手段を替へて出願

嚢に井上角五郎氏等一派の政商團が廣梁灣に於ける官鹽の一手販賣を引受けんと欲し株式會社の設立を企て總督府に向つて認可申請書を提出せし事ありしが右は當時所報の如く一喝の下に當局者より拒絶せられたるを以て遂に沙汰止みとなりたる事と思ひ居りしに意外にも過日鐵道協會大會開催に際し同氏の渡來ありて拔目なく運動を試み[illegible]之を再願せり而して今回は之を合資會社とし表面の代表者には山口太兵衛氏を立て井上氏は其裏面に隱れて目的を遂行せんとするものゝ如く夫れかあらぬか山口氏は十數日來屢々度支部に出頭及頭して當局の意を動かすに努め居れり一方度支部當局者の意向如何を內探するに當初に在りては法規を楯に到底不可能の請願なりと公言し居りしが昨今は全然豹變の態度を示し其方法如何によりては許可し兼ねまじき傾向仄見へつゝあり爾來山口氏は頻りに暗中飛躍を試み當局を滿足せしむべき計劃方法に就き腐心中なるが元來鹽販賣事業は充分斯道に經驗を有するものにても尙ほ難んずるは現に各地に於ける失敗の例證枚擧に遑あらざるに見ても知らる然るに右諸氏等の計劃を見れば殆んど何等の定見をも持せず唯だ單に利權の獨占を夢むるのみ故に縱令成立を見るに到るも到底標榜せる目的を擧ぐる能はざるべし結局は千三百萬の消費者と現在販賣業に從事せるものを苦むるに過ぎざるべきか

●京畿道內地人數

京畿道警務部に於て調査せし三月末の統計によれば道內に於ける內地人戶數は一萬六千六十二、人口五萬六千七五十六なり尤も是は軍人を除外せしものにて更に京城、龍山、仁川等を細別すれば

地名	戶數	人口 男	女	計
京城	八、九三二	一六、二五九	一四、六六七	三〇、九二六
龍山	二、三六九	四、八九一	四、二六九	九、一六〇
仁川	二、八九二	五、七五五	五、二八八	一一、〇四三

管內中千人以上の內地人を有するは水原郡の戶數三百七十六、人口一千三百七十七、開城郡の戶數四百六十三、人口一千四百八十一なりと

●總督邸晩餐會

寺內總督は五日午後七時より同官邸に米國通信員ケーデー氏同夫人米國領事柴代議士倉富司法部長官渡邊高等法院長國分檢事長中村檢事長同各夫人城控訴院長同夫人本田鹽長の諸氏を招待し晩餐の饗應ありたり

●府縣別內地人

總督府最近調査に係る各道を通じて內地人各府縣別人口を示せば左の如し

府縣名	人口	府縣名	人口
北海道	八九七	千葉	一、二三三
東京	四、九八〇	茨城	一、〇八五
京都	二、七六五	群馬	七〇三
大阪	五、九七〇	栃木	六九八
神奈川	一、四六九	奈良	一、三三九
兵庫	四、三八四	三重	二、六〇七
長崎	三、一六六	愛知	二、七五六
新潟	一、六二一	靜岡	一、九六六
埼玉	八二四	山梨	六五九
岐阜	一、八一六	滋賀	一、九六八
長野	一、二三一	岡山	五、五七五
宮城	一、一八〇	廣島	九、七七四
福島	一、三九四	和歌山	二、二〇五
岩手	五〇八	德島	二、六四四
青森	四三五	香川	三、二七五
山形	七八六	愛媛	四、八〇四
秋田	六五一	高知	一、一七九
福井	一、八〇四	福岡	一二、一二八
石川	一、七八二	大分	八、五七〇
富山	一、五〇八	佐賀	五、五〇一
鳥取	一、八二六	熊本	八、〇三九
島根	四、二六九	宮崎	一、一五〇
沖繩	六九	鹿兒島	四、三三五
山口	一八、九八八		
合計	一五八、二六五		

●各道授產計劃（九）

咸鏡北道……

▲事業の種類 同道にては一般の現狀に鑑み成る可く卑近簡易を旨とし施行事業を定めたり而して其種類は一種苗の配付、二農具の配付、三畜牛獎勵、四養蠶獎勵、五水產獎勵とし一二三は各府郡に四五は各其好適せる府郡に於て行はしめ別に共同事業を經營せしむ

▲授產事業經費 四十四年所要の授產事業經費は左の如し（單位圓）

種苗配付	四、三〇五	農具配付	二、〇五六
畜牛獎勵	八、一八二	養蠶獎勵	一、〇六七
水產獎勵	九九八	合計	一六、五〇九

▲種苗配付 同道農民は貧窮に極種子を食料に供し若くは賣却するものあり故に是等の貧民を救濟するは特に緊切なるを認め燕麥馬鈴薯大豆萃果の種苗を購入し府郡主要地數ヶ所に集合せしめ授產の趣旨及栽培上の注意を與へ一戶若干の標準を定めて配與す而して府郡農事試作員金融組合技手等をして實地の指導を爲さしむ

▲農具配付 固有の農具は甚だ粗笨を極む然るに近來內地又は露國農具の利あるを知りて頻に羨望するの傾向あり故に此風潮を利用し三德鍬鎌篩を內地より購入し恩賜授產の趣旨及使用方法を敎へ賣却典賣等を戒め道府郡常に監督し若し其誡戒を遵守せざるものは返納せしむべき條件の下に備生の無產者及窮乏者に無償配付す

▲漁具漁撈改良 施行府郡を清津府及城津明川鏡城慶興の四郡とし改良漁具の製作の爲め傳習生を地方支辨漁具製作使用實習所に依托して敎習し其製作に係かる漁具一組を傳習終了生に給與し尙ほ其殘餘は傳習生出身地の附近漁民に交付すべし

▲畜牛の獎勵 畜牛は同道の重要物產にして近く浦港に無限の販路を有し前途甚だ有望なり然るに屢々牛疫に襲はれ近時著しく劣退を見る故に特に本獎勵に重きを置き牝犢及種牡牛の購入配付を爲す牝犢は農業又は運搬業を營み又は之を營む志望あるも現に畜牛なきものに付與し其條件として滿二年に達したる時は府郡種牡牛を以て種付せしむべく又之によりて生產せる牝犢一頭は生後六ヶ月後府尹郡守に提供せしむべく更に種牡牛は篤農家に飼養料を與へて預託するものとす

▲養蠶委托傳習 先づ城津吉州明川鏡城會寧鍾城の六郡に施行し各郡合計三十名の傳習生を撰拔し之を地方費支辨の養蠶傳習所に委托す而して各傳習生には桑苗を給與し五ヶ年間に二十五萬本を植付けしめ八年後の收繭額四白石內外を目的とせり

●商議牛數改選 申合候補の顔觸

來る三十一日を以て執行さるべき京城商業會議所牛數改撰は定款改正の結果從來二十四名なりしを三十二名に增員したるを以て今次の改撰は三十名を撰擧せざるべからず而して早くも二月以來寄り〱申合中なりしが目下其候補者として數へられつゝある人々は如左

▲再撰 古城龜之助、秋吉富太郎、池田長兵衛、大島專藏、小川勝平、池田長次郎、久保虎介、近藤佐五郎、高木德彌

▲新撰 釘本藤次郎、梶原末太郎、久保田金次郎、三上林太郎、藤富國太郎、森久兵衛、唐川立造（以上京城）渡邊興三郎、執行猪太郎（以上龍山）

而して既に夫れ〱委任狀を蒐集したれば以上の諸氏は當撰疑なかるべく唯だ其內高木德彌氏は引退し或は三田政次郎氏打つて出づるやも計られず尙ほ二名の不足に就ては未だ聞くを得ざるが意外の邊より運動起るべし概して目下の處にては申合濟みなるも併し愈々其最後に到らば多少の變更を見るべく察せらる

●觀察巡航船

新潟縣にては同縣知名の士五十名を定員として佐渡汽船株式會社所屬船第十二號度津丸を艤し朝鮮各港を巡視する事となり其發船日付は未だ確定せざるも寄港地は新潟を發し浦汐、淸津、城津、西湖津、元山を經て釜山に出で而して門司に廻航する筈にて此浬數千八百三十四浬各地滯航日數は浦汐三日、淸津三日、城津一日、西湖津一日、元山二日釜山五日、門司二日の豫定にて乘船度津丸は五百六十九噸新式の汽船なりと

●釜山汽船計劃

釜山汽船會社は從來木浦迎日灣間の航海をなし居りしものなるが今回航路を擴張し北は現在命令航路の迎日灣を延長して浦鹽に西は同じく命令航路終點の木浦を越えて更に大連迄延長し之に使用する大汽船は別に借入るゝ事となす計畫にて其か補助を請願せんため會社は社長大池忠助氏を當地に入京せしめ運動中なりと

●京商選擧名簿

京城商業會議所撰擧有權者名簿は六日より十一迄十日間供覽に付す

●仁川商議牛數改撰

仁川商業會議所議員牛數改撰並に補缺議員及會頭副會頭撰擧は來る二十日頃擧行の筈なりと云ふ左に定員二十四名の現任員を列擧すれば左の如し

（留任者）奧田利吉、宅甚三佐、村谷吉瀨、北島伯三、田中佐七郎、平山松太郎、稻田勝彥、市川武吉、宇治原志郎、加藤々太郎（滿期任了者）竹田津三平、森常吉、八田利三郎、坂倉伊平、力武平八、伊藤虎太郎、頴原修一郎、樋口平吾、沖津戶十郎、木村淸太郎（辭職者）加來榮太郎、桑野良太郎

●在鄉軍人會成立期

四日午後一時より憲兵司令部の倶樂部に於て在鄉軍人會の京城分會組織に關して準備會を開き大体の打合せをなしたるが來る八日更に準備會を開く由にて發會式は多分本月十八日（第三日曜日）景福宮に於て擧行するならんと云ふ

●龍山軍人分會

龍山在鄉軍人會發會式は四日第六十五聯隊雨天操兵場に開會す來賓會員二百五十餘名出席を見來賓の重立つ者は寺內總督代理中山大佐、大久保軍司令官代理柴參謀長、明石警務總長、藥師川警務部長、黑石副官、大番第一憲兵分隊長、村田第二分隊長各將校等にして司會者は荒木分隊長、田中分會長の兩氏にて中山大佐の講話柴參謀長、明石警務總長、藥師川警務部長等の訓示的演說あり天皇陛下の萬歲に次で分會の萬歲を唱和して式を了り別室に於て折詰の饗應ありと

●臨釜水利工事と特派員

全羅北道臨益水利組合の大工事落成愈日其式を擧行されしに付本社は山神水靈生を特派しつゝあり工事の模樣も近く同生の筆によつて報道さるべし

▲はがきだより▼

口便　山靈水神生

船は六時の出帆と云ふ、まだ二十時間は有る際で、チョト久振りに仁川の町を氣でも見ずんばある可らずと立ちかければ、誰やら船は四時ぢやと云ふ、アカの他人の要らぬ世話の有難す、乘り損じては大事ぢやと波止場に廻れば相も變らぬ其混雜、仲士船頭チゲクンの一隊右往左往、船に乘る人降りる人雜然騷然紛々然、やれカバンぢや、行李ぢやツックぢや毛布は何處ぢや、それの荷物は誰れの荷物ぢやは、チト狼狽方が奇拔也。ヤット端艇へ乘り移る、突き出す漕ぎ出す綿積の、千尋の海は夕の滿ち干き浪逆構のさて野呂ヶ地裂ダサ、コナイヨッ築港が必要ダスと商人君の說明に頗る感心す。漸く漕ぎ附けた群山丸の、タラップは宙から吊つたのを、登る足元ブカリブカリ、あぶないこと浮き腰の諸君落ちたら大變なり、此處に於てか落ちず。甲板に安着すれば船客萬來、商船會社は大に儲かる可し。午後五時泰然として船宅に落着す（二日群山丸にて）

●電車改定賃認可

日韓瓦斯電氣會社電車賃は航報の如く現行區域を短縮し一區三錢に改定すべく申請中なりしが漸く認可ありしを以て七月一日より實行すと

●百卅利子記入

百三十銀行京城支店にては客年十二月一日より本年五月三十一日までの預金利子を五日より記入する筈なり

●仁川驛收入增加

仁川驛に於ける汽車乘降客及貨物取扱高は漸次增加の趨勢を示し去五月中の收入を昨年五月と比較し乘降人員二百七十六人を增し貨物賃金に於て二千二百三十八圓三十一錢の增收を見るに至れりと因に五月中の乘車人員四千六百七十五人降車人員四千六百十五人乘車客賃金六千二圓三十四錢貨物收入二万四千八百七十圓六十九錢なりと

●京畿道管內農作

京畿道內に於ける本年の農作狀況を聞くに麥作は非常に良好にて豐穰疑ひなきが如くなるも目下苗代時なるに拘はらず幾分降雨量の少なきに困難しつゝありと云ふ

●店員表彰發表

昨年末來調査中なりし京城各商店々員にして永續精勤したる店員勤勉表彰は愈々來る十五日發表さるべしと

●山形中佐の出張

憲兵司令部付中佐山形閑氏は四日午前九時十分南大門發列車にて平壤、新義州、義州等に出張せり往復一週間の豫定なりと

●銀行券發行高週報

五月八日より六月三日に至る韓銀貨幣發行高如左

內	
銀行券總發行平均高	二一、五〇六、二五七
正貨準備發行平均高	七、七二四、七一四
保證準備發行平均高	一三、八三六、五四三

●滿韓實業の宴

滿鮮實業協會主幹內田竹三郎氏は四日夜當地新聞通信記者を白水に招待し晩餐會を開き內田氏の挨拶に次で釋尾旭邦氏來賓を代表し挨拶をなし一同歡を盡して散會す

▲仁川港の出入船舶▼

△神代丸　六日長崎より入港
△安東丸　同　大阪へ向出港
△神代丸　同　神戶へ向出港

▲京城手形交換高▼

月日	枚數	金高
六月五日	五六一	二七四、四八四、八〇

內地巡禮日記（八）　水浪生

五月十日、今日は東京式の鬱陶敷天氣、併し旅舍に閉籠るも何となく不愉快なれば出で丶數箇所を訪問す。途すがら友人某に誘はれ交詢社に立寄り午餐を採る、茲にて偶然先輩なる銀行大家某氏に會す、某氏余を捉らへ口を極めて朝鮮會社令を非難し、且つ曰く今後朝鮮に最も大切なるものは財政の獨立なり、財政の獨立とは只に半島自身が半島統治に要する一般政費の負擔を爲すのみに非ずして、彼の駐劄軍及び鎮海軍港の費用をも負擔し、本國國庫に一文の迷惑を掛けさるのみならず進んで國防上の經費に向かつて幾分なりとも貢獻するにあり、故を以て夫れ之れが目的を遂せんには產業の開發、乃ち人力を以て半島の自然を征服し富の生出に勉めざるべからず、而して近世的富の生出には會社組織の機關を要す茲に於てか彼の會社令を何とかして大に會社事業の勃興を圖らざるべからず、アー某氏の言ふ所余の私見に合すと、余は氣強く感じ、今後益々財政獨立論の唱導に勉むべきを約して別る。今夜は帝國劇場に女優連一座の芝居を見るべく、森連の某氏から招待を受けて居つた、午後五時劇場に赴き、招劵を出せば代りとして渡されたるが子常紋染拔きの手拭と胸を飾るべき章だ、席に就けば茲は之れ森連百餘の劇據區、紳士の人氣は素晴らしきのだ、當夜の劇はなにかとあつた余が興て以て感動したのは大切り雪花中の一幕、乃ち藤公餘影中から取た伊藤公雪の別れの場であつた。は谷垂に故公の容態を現し、今は故公の幼時に於ける立志の一幕を親す、捜運動場に於て澁澤男爵、古谷久綱君、增田義一君其他四五の舊友に會す、澁男は女優前途の光明に就いて說かれ古谷君は藤公餘影の著者として雪の別れの場に就いて說かれた、惜ら〱思ふに余は殖民地から來た赤毛布だ、カラ實を云へば帝劇を觀じて一驚を喫すべき筈だ、殊に美しき女優等を見ては一驚を喫すべき筈だ、併し不思議な事には余は驚きもせず、恐れもせぬ、而して其理由は茲に書かぬが花だ。時最後の一幕を見殘し、余は友人某と共にサッパアーを探るべく赤坂の某に行いた、茲にて一場の喜劇を見たのであつた、此喜劇は深く深く余に興せる面かも孤ならず、必ず隣あり、自ら侮る勿れ、と前置して扱喜劇の筋は大要に述ぶることと致す。

▲茶袋▼

本山大阪每日社長が拓殖會社に吉原副總裁を訪ね、段々拓殖事業も御發展の如うであるから、定めし御忙がしい事でせうと、如何にも皮肉な挨拶をする▲すると吉原の曰く、面白い、イヤ素人ばかりの寄集まりだと後はムニャ〱、途ふ〱問はずと落ちず語るに落ちて了まつた▲最近省が朝鮮の商議書記長を、全國書記長會議に列席せしめて、新記錄を作つたのは日鮮同視の現示であつて頗る痛快事だ▲處が後で考へて見ると朝鮮は特別制度だ、謂はゞ總督の畑を荒らした事になるとて頻りと寺內伯に對し氣を揉んで居るそうである▲內地の會社が朝鮮に支店を設くると、其支店は會社令の束縛を受けねばならぬ▲而して一つの會社が二つの形となり、一つの化物が出來るので今頃氣が付いたように研究して居るげな▲再造君差押命令は議員といふ顔に面して、〱納める條件の下に一時猶豫を與へた故に執行はしなかつたとて民團からホトンの訂正を申込むで來た。

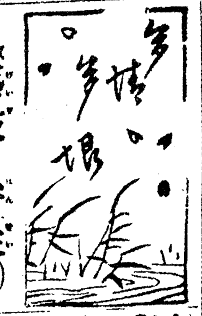
●馬山電燈進行期 日韓瓦斯電[illegible]工事を完成し過日其營業を開始せり而して現在申込中の燈數は約千三百餘個[illegible]器具据付の爲め今に取付は調和すべきを以て遲くとも七月中には千個を供給し九月迄には其全部を了

●鶴田代議士の入京 代議士鶴田禎甫[illegible]

●相場電報

▲神戶 寄付 三三、四〇 三三、九〇

●仁川米豆取引所



工事を完成し過日其營業を開始せり而して現在申込中の燈數は約千三百餘個にして内五百餘個の裝置を了へたるが……は到着すべきを以て遲くとも七月中には千個を供給し九月頃迄には其全部を了るべしといふ

京城藝妓の半生(廿七)
開進亭の金玉(一)

開進亭金玉の項を藉りて一寸讀者諸君の疑義を明にすることにした、或る人は江戸奴の客筋を何故書かぬかと云ひ或る人は**金五郎の巴城館**に於ける淺野君との**情事**の如き著名なるものを何故ありて見遁したか樓助の夫れの如きも左樣である、探れば隨分面白いこともあるを只迷惑のない程度に於てのみ紹介すると云ふてと無事では宜しいが夫れは甚だ面白くないことである、相成るべくはモ少し當地に於ける旗色なるものを鮮明にして頂きたいと斯う云ふのもある併し夫れは餘りの詮索に過ぎると云ふものである新らしい疊も叩けば埃が出ると云ふ况んや新らしくない古疊叩いて埃の出ぬ譯はないが何にも好んで餘り上等な……歡迎すべきものでない埃なるものをバタバタと立るには當らんので、元來、此の半生史なるものは慰みに書くので決して他人の缺點なるものを拾ふのが目的でないのだから**迷惑**にならん**程度**に於て惚けさせもし惚けもさせるのであるから横町での犬の情事、便所の傍での秘密夫れは何うか大目に見て頂かなければならんのである夫れが一方に於て却つて面白いのだと思ふ、一寸此れを此所に斷つて置くのである。

金玉、彼れは漸やく本年**十九**である、義太夫が巧である丈けに**高橋辯護士**などには非常に御贔屓を蒙つて居るのである、隨分と美しい好い妓だ生れは**大阪の北區堂島**だすが**籍**は廣島縣**呉市**にある、と云ふのは父さんが大阪で失敗したので轉籍しましたからなのである**本名**は**山田きん**と云ふ**十四歳**の年の**十一月**父ぢや人と共に渡鮮仕つたが都合あつて**大邱錦町の田中樓**から金玉と名乘つて稼かせ何方だか知らないのを取ることに成つた、十五歳の春當地の**風流男・大久保の雅彦**君が大邱に於て彼れを見掛けて何にやら不善い下心を抱いて京城に住み替ねせよと勸めたである、此所に大久保君は藝妓誘拐の罪を犯して居る譯である、此**かどわかし**に逢つて其の年の七月**京城**に參りまして今日に至つて居るのである好きな男もある、併し彼れは興味いものには事があるとて一切孤み食ひなるものせぬのである、前段申述ぶる通り彼れの尻押しは彼は大久保君である、高橋君は其の方の關係口特に無いと云つて居るが若い妓のことであるから一寸胴忘れをして居るのかも知れない、兎に角彼れも十九歳である、男の顏を見て恥かしがる年でもないのだから惚實なるものがあるに相違はない、イヤ或は此の大久保の旦那なるものが甚だ油斷のならない夫れかも知れないのであるのだ(つゞく)

明石將軍の迷惑

娼家井門樓主の實弟にして目下或る刑事問題に就いて被告訴中の「新半島」と云ふ雜誌の主幹と稱する山道雅一は自ら明石將軍の御用記者なりと稱し今回の告訴沙汰の如き將軍の靈力に依つて何事もなく濟むべく且つ自分は將軍より毎月五十圓宛の手當金を受け居れば裁判入費等には決して困ることなしなど虛構の放言をなし居る由なるが若し事實なれば實に將軍の署名を傷けんとする不埒者と云ふべし

井門支店 瀧子の落膽

△可愛い人を寢取れし

井門支店と申せば當地新町遊廓で有名なものである其家に美しい女も數ある内にたき子と云つて本年二十九だから來年は三十になりまん先御尤千萬な事を申して居る二枚がある改めて斷りする程のものはない皆さん光刻御承知であらう彼れは新町切つての古狸ぢやない古狐である生れは岡山で米の實る木を知らないと申して居るかと思ふとモウ此の頃は一番草を取つて居る時分でもなぞと詳しい事を云ふ、此の妓は明治四十年に此樓から出たので隨分と長く勸めをして居るのだが田山と云ふ可愛いいのが此頃南山町の或る處の女中と懇意になりて以來寄付ないと云ふので落膽して自暴を起し一旦禁酒の誓つて掛けた願をメリ／＼と破つて醉つて頭腦のもつれを忘れ如と努めて居るが夫れが却つて思ひの種子となり鬱悒つく／＼身の不運を泣いて居るが思へば可憐相なものであると云ふ人がある頭は人さへ見ると可愛がつて頂戴など盛んに愛嬌を振り撒いて居るが新聞屋さんに丈けは夫れを言はずヤケのやん入を列べて落膽に搭を附けて居るとか何うなるが何う云ふ量見か其處は記者にも不明な處が花なるべし

●外人の義氣

二日午後五時頃記者は仁川驛に瀧野驛長を訪問し居たる際西洋人男女二十三名の一行は山なす行李を驛員に託し正に京城に向はんとす時に驛長は一行中の主領たるホアイコフレーモンド氏に向ひ一等客車一輛しかなき爲め汽車中の混雜を憂へ丁寧に挨拶なしす近しも余は此の一行の何人なるかを問はんと通譯を介して氏に質問をしたる處一行中に最も日本語に巧なる一夫人あり就て一行の何人なるかを聞くを得たり一行は米十五人英五人墺一人、伊一人、露一人にして夫人自ら余の手帳を取て私の名はエニカロルと云ふと記し尙語て曰く此の一行二十三人と云ふ者は敢て團体には非ず中には日本觀光の客もあり又商用の者もありて只だ船中に於て一緒になりしのみの事なるが去三十日大連發の城津丸に搭乘し三日仁川に上陸したる者なるが航海中濃霧の爲め船は進航を遮られ一晝夜碇を卸して假泊し居たる際乘組水夫の一人が碇を揚げんとして右手指二本を切斷し又機關見習生の一人は甲板より滑りて海中に落ち一時大騷ぎとなりしも幸に救助せられたるの一事ありとて言葉巧みに語り續け孰れ此の事は新聞に出るならんも就中墺太利人チエラヲスダリヤ氏は最も救助に務め剩へ吾々西洋人中を斡旋して負傷水夫の爲め義金百〇五圓を募り與へたり尙機關見習生には衣服の汚れたるより其の料として更に十二圓を與へたりと云ひけるより余も又其の好意を感謝せざるを得ざりき已にして一行は汽笛と共に午後六時十分京城に向へり余は早速水上係に就て城津丸の眞相を訊さんとせしに水上係には何等の報告なしとの事より直ちに船扱店たる大坂商船會社仁川支店に新庄支店長を訪ひ漸く眞相を得たり城津丸は三十日大連を發し鎭南浦を經由し去一日仁川入港の豫定なる處一日に入港せざるより會社にては不審を起し二日午前九時月尾島より小靑島へ無線電信を以て問合せたる處約三十分の後に於て船名は不明なるも先刻航行せりとの通知ありしとて同社にては安心し居たるに遲刻の原因は椒島沖に於て濃霧の爲め止むなく一晝夜假泊し居たるに濃霧も稍々霽れたれば水夫中村勘七碇を捲上げんとせしに未だ濤穩かならずして船の動搖甚だしかりし爲め鎖に手を挾み右手指二本を切斷し尙他の一人は水中に墜落し危き命を救助せられたる次第にて此際船客の外人等に義金を與へられしなるべしと而して二日午後二時四十分入港し同六時には已に長崎へ向出港したりとて同船員等も已に出發の後にて之れ以上の詳細を知るを得ざりしが偖る外人よりの救助及義金を得ながら水上署には只だ無事なりしとの報告をなせし而己なりとは船員等の行動沒情義と云はざるを得ず

女振り(二十一)

由利弘君夫人 由利和歌子

由利弘君は仁川病院長で醫學士であらるゝ、仁川病院は所謂仁川病院であるから市中の開業醫先生連とは殆んど沒交涉である、依つて由利君は元より各醫員とも餘り世間と交涉がないのである、和歌子さんなぞ即ち敵を以て同じく社會との交涉が少ない、から應接振りなぞ定めて下手であらうと思ふと大違いでナカ／＼の交際巧手であらるゝ、和歌子さんは非常に能筆家であるゝので戶口調査の時なぞ警官の面前に於てスラ／＼と行つて對手を吃驚させる、夫れは何も吃驚させるが爲めに巧いのではなくて巧いが爲めに吃驚するのである明治二十年の生れと云ふから順に今日に及んで居るとすれば二十五歳であらるゝ都合であるが世の中は事は意想外なるものがあるから夫れも果して何うあるかは斷言すり限でない

●仁川近海の海賊捕はる

去三月廿一日忠淸南道黎川郡南下面船村の船頭柳仁弼は四名にて苫を積載し仁川に航行すべく南陽靈興島附近に差掛りし處小舟に乘り居たる三人の者共突然柳の船に闖入し直ちに柳を捕縛し海中に投じ尙同船員三名を縛し金品を掠奪せんとせしに生憎金錢等なかりしかば其の儘該船を奪ひたるより其の時柳は無慘にも手足を縛され海中に投せられしかば空しく海中の藻屑とはなりしなり其の後彼の賊徒は奪取せし船にて出沒し處々に出沒しては惡事を働き居たる事とて仁川近海に於て彼等の爲め奪りし被害又尠なからざるべく仁川の刑事は日夜銳意賊徒の搜査に務めしも彼等は巧に蹤跡を晦し居たるに四日仁川稅關波止場に大なる朝鮮笠を被りウロツキ居たる一人の擧動不審の者ありしより小池、朴、成の三刑事は通きり彼れが嫌疑者の一人として早速捕縛引致し同類者の一人が目すべき者金谷洞に潜伏し居るを發見し孰れも同日午後二時頃三刑事の爲め捕縛せられ目下野村警部の手にて嚴重取調べ中なれば追て詳報する處あるべし

●身代り犯人處刑

既報親分の身代り事件の傷害犯人太田德松は懲役六ケ月に加藤吉松は犯人藏匿犯にて懲役三ケ月に處せらる

●劍客職に斃る

釜山警察署在勤巡査氏家忠次郎氏は擊劍の達人にして曾て當地南部警察署在勤中には同警察員に擊劍の教授をなし居りしものにて二三個月前釜山署へ轉任したる人の由なるが四日同署の道場に於て擊劍の教授中面を擊たれて卒倒し其儘死亡したり檢視の結果腦溢血と決定したり



相生と小常陸の稽古

●バクチ

南部司畜洞金聖泰(三二)安元興(三二)羅寨榮(一九)の三人は二日午後六時頃賭博を爲し南部署に捕はれ取調中

●龍山の和歌の池

和歌の家主人池上善之助が龍山凱旋町の廣場の溜池を善用して立派な池にした、其の披露として四日の夜知人數輩を招いて其の池の上に架設した掛茶屋なるものに小宴を開いた、僕も招かれたので行つた本紙にも此の池は和歌の家の後園の如くわつたので和歌の家を訪ふた、處が夫れ池は凱旋町に公開されてあるのだ朝鮮新聞の山口君と共に美しい仲居君の案内で築造された池を見るゝ、二千坪もあらうか滿ちられた水は折からの微風に漣を立てゝ居る池の東岸に水に差し出して臺が二棟ある岐阜提灯の其の灯影が水に映つて風に碎けて金波を散る、大鷲が大きな檻に其銳い目を輝かして猿猴の檻に臨つて居る、池上の語る所に依れば自分は斯くして龍山の爲めに活き斯くして龍山を活かさんと勤めますのだ、と云ふ所や善し爲すことも又可である、池畔に樹木がないのと枝が挿してあるが彼れが太くまでは大分年期がある、兎に角夏季の遊び場所として京龍間唯一の地となつた、池の畔が平坦だから自轉車競爭徒歩競爭等の場所としても一廉の價値がある、お手輕を宗とすると云ふから水を渡つて來る涼風に苦熱を拂はせつゝ心太でも啜るのには持つて來いである、紀の國屋の老爺は自分の事の如に奔走して居た(△生)

●演藝だより

●歌舞伎座 京都の劇界に其の名を知られたる新派俳優武田史郎柴田恒夫等の一行は四日午後南大門着列車にて入城井門本店に當地の新聞記者を招待して披露宴を催し其の意見を聽取したり樓助、妻子、奴、蝶々、鶴吉等酒間を斡旋して頗る賑かなものであつた六日夜から開演する相である

●●歌舞伎座 愈々好評ある京都翠香團總田俊之助一座乘込み五日より大入氣の裡に開演せし由にて特に入場料は特等七十錢一等五十錢二等三十五錢三等二十五錢の格安、六日の藝題及役割は南家展襲れ熊、同普生山田(神邊)南少尉(武田)北大尉(竹內)巽男爵(月岡)巽濱熊五郎、東大佐(山岡)巽夫人みさ子、小間使れ玉(松浦)田中一等卒(小松)南夫人鈴子(木村)大井憲兵上等兵(喜多)巽辰子(柴田)武中從卒(淸水)塚本上等兵(江川)田村明(森本)書記兵(秋本)西歩兵曹長(鎗田)

●●浪花館 浪花節若團一座六日の語物三國一蔚井玄伊(日本軒雲龍)人情裁判梅山大佐(東洋軒三笠)血氣傳義俠錢、田沼乃傷、大和櫻義士面影(京山若團)

●相場電報(明治町四村支店着)

[illegible]

廣告

●貸地 京城本町一丁目巫公會跡約四百坪內外 望の方は郵便局前田中旱迄御申込ありたし

工事請負入札公告
一 淸州鳥致院間橋梁架設工事
一 渠伏設工事
右六月十九日入札ニ附ス詳細ハ六月五日以後ノ朝鮮總督府官報又ハ內務部地方局土木課ノ掲示ヲ見ルヘシ
朝鮮總督府

石油發動機船新造工事
一 漁船型石油發動機船一艘
右工事請負望ノ者ハ本月六日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
明治四十四年六月六日
朝鮮總督府航路標識管理所

公告
當會議所評議員定期半數改選及增員議員選擧ニ付來ル六日ヨリ十日ニ至ル五日間當會議所內ニ於テ毎日午前九時ヨリ午後四時迄選擧及ヒ被選擧人名簿ヲ縱覽ニ供ス
明治四十四年六月五日
京城日本人商業會議所
會頭 山口太兵衛

白米現金賣直段
一特等米五斗入一叺 八圓六十五錢
同 一升に付 十七錢五厘
一普一等米五斗入一叺 八圓八十錢
同 一升に付 十七錢
尙五錢以上御買上げの際は特に勉强仕り候
京城本町一丁目 電話六三二番
イ今村商店

移轉廣告
弊店儀今般左記ノ處ニ移轉仕候間此段廣告候也
京城壽町一丁目(日本人商業會議所前東へ入ル)(電話一四二五番)
東京田中五庄堂代理店
藤防抄紙株式會社代理店
三益飯炊釜發賣元
其阿彌直次郎

初夏の候益々御淸福奉大賀候陳は小生儀昨冬以來業務の革新に着手仕候結果日韓貿易株式會社を解散し京城本町二丁目文林堂を閉店本町四丁目本店に合併仕り新に龍山停車場前に支店を開設し仁川本店を支店に改むる等其都度廣告仕候へ共種々錯雜罷在候間左に列記仕候不相變御引立奉希望候
從て本店使用電話一六九四番を他に讓渡仕候間以後御用ひ之無樣願上候
店主 町田文次郎

●本店營業品目
雜貨文具直輸入商
書籍新聞雜誌
總督府特許度量衡器移入販賣
測量製圖器
京城本町四丁目 町田本店 電話 振替口座 [illegible]
仁川港本町二丁目 町田支店 電話 振替口座 [illegible]
龍山停車場前 町田支店 電話 振替口座 [illegible]
歐米雜貨商 夏物荷揃
京城本町三丁目 町田支店 電話 振替口座 [illegible]

風俗畫報 第四百廿號 正價金二十五錢 郵稅金一錢
東京新吉原の大火を初め四月廿九日川崎に於ける米人マース氏坐乘の飛行機飛揚の光景遣英大使の宮御出發故江藤氏の人法會圖光大師七百年忌法要等說苑、言語歌謠、諭訓戒、歷史地理、書畫、詞林外風俗に關する記事豐富挿畫着色刷夥多

繪畫叢誌 第二百八十九號 正價卅錢●郵稅一錢
▲插畫目次▼ 鷹闘石版彩色刷 彷米襄陽 同 長江長城六枚折一双 三曲二枚折一双 春景山水 同 二味山水 同
▲記事▼ 日本畫の新傾向(完) 香峯○二葉會繪畫展覽會○倫敦に於て成功せし閨秀浮世繪師○武田氏の不動明王研究○宋拓[illegible]

新刊 臺灣地形地質鑛產地圖
臺灣總督府御編纂●比例尺三十万分の一●六枚組全一部
地形圖 金七十錢 郵稅金八錢
地質鑛產地圖 金二圓五十錢 郵稅金八錢
發兌 東京神田區表新石町 振替東京壹九〇六 東陽堂

●諸公債諸株券 現物賣買

迅速確實に御取扱可申候

兼業 既製并服御小賣 官衙御用達

京城本町三丁目

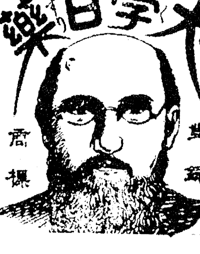
大坂野村德七代理店

田中友吉商店

電話九九三 電略(タ)

●かれこれと迷ふこと勿れ 完全無缺の大學目薬あり

大學目薬



大學目薬は帝國醫科大學病院の處方に基きし貴重の製劑にして●流行目●トラホーム●血目●拔目●眼目●のぼせ目●かすみ目●其他眼病一切に可驚奇効あり

發行所 元 大阪市北ノ 天[illegible]丁目 ヘブリン丸 組 参天堂薬房

かぜねつの良薬 ハリカン印

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番千六十八番 振替口座京城十六番

純良消毒牛乳

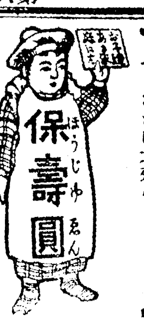
京城東四軒町

岡野牧場

電話千六十九番

小兒かんむしの良藥

効能 ○ひかん○むしけ○ちゝあまし○ひきつけ○ねあせ○ちばなれ○かべつちをかむ○かほてあしつりなぞに大効あり



價五錢●十錢●二十錢●五十錢

本舖 大阪堂島蜆橋 高橋盛大堂藥局

全國到る所の藥店に販賣す

代理店 京城本町五丁目 木下大盛堂　同 南大門通三丁目 新井藥房

瓦斯コークス販賣

京城黄金町高等演藝館隣

酒井組

電話二一四九番

◉貸金

旭町二ノ一五 別府高橋組車帳場筋向小路

有給者には極秘密に低利融通可申候

完全なる健康法は善良なる滋養を得るにあり



蜂印香竄葡萄酒

は佛國葡萄酒の精粋なれば醇良にして佳味日常の滋養劑として最良好適たる事を實地に保證せらる速に飲用あれ

發賣元 東京 近藤利兵衛

滋養大関



●次亞燐は各藥店に賣捌せり

本舖 大阪道修町二丁目 小西久兵衛 製劑師

定價 大瓶金壹圓五十錢 中瓶金九十錢 小瓶金五十錢

英國セフヒールド市 シーボムアンドデイキスタル製鋼會社特約品

鑛山用 地球鷲印八角鋼

道具用 同 角磨鋼

職工用 同 鑢各種

右は朝鮮一手販賣罷在候處清鮮地石材穿鑿具製作用として最も適當の爲め至極好評を博し價格亦内地輸入品より格外廉價に御座候間何卒一度御試用奉希上候

京城本町五丁目

和洋金物商 鐵釘本 藤次郎本店

（電話四五番・電信略號「ク」）振替貯金口座京城二五六番

齒科治療

本町六丁目（俗そば横町）

ドクトル 中村安子

女子見習募集委細面談

（電話一五八三）

仁川海岸

旭屋旅館

電話二五一

眺望の好き事 陸軍指定旅館 鐵道院指定旅館 仁川水産組合指定旅館 第一各保險會社指定旅館なり

弊館には夜警の設備有り

御客様の安全此の上なし

警務總監部御認可 藥學士兒島先生檢査濟



ラムネ

◎弊舍は京城ラムネ界の開祖にして數年間斯事に從業し傍ら研究の結果本年は三ツ矢サイダー製造所より熟錬せる職工を雇入れ原料共に品精々相撰み嚴重なる監督の下に製造仕り候間陸續御注文の程偏に奉願上候

製造元 菊水舍

文房具 和洋紙 測量器械

日本政府檢定濟 度量衡器特許輸入販賣所

シノサキ本店

京城本町一丁目（郵便局前）

電話七百五番 電話長六四八番 振替口座朝鮮一五四番

齒科診療

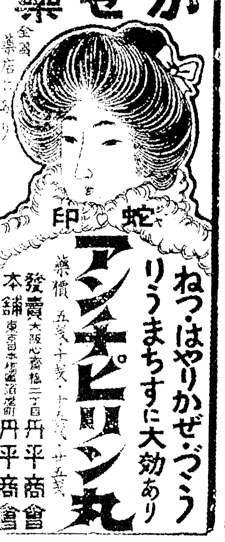
京城南山町二丁目（天眞樓隣 寫眞館跡）

齒科醫 楢崎東陽

電話千三百六十番

世界一のかぜ藥

全國藥店にあり



蛇印 アンチピリン丸

ねつ・はやりかぜ・づつうりうまちすに大効あり

藥價 五錢・十錢・十五錢・廿五錢

發賣 大阪心齋橋二丁目 円平商會

本舖 東京日本橋區箔屋町 円平商會

代理店 京城 新井藥房 電話九〇四番、一〇六八番 振替口座京城十六番



アンチヘブリン

四季の引かぜ・はやりかぜ・ねつ病一切づつうの良藥

發賣元 京都市三条柳馬場角 川杉資善堂

藥價 二日分金拾錢 五日分金廿錢

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四、一〇六八 振替口座京城十六番

★株式會社百三十銀行京城支店

電話百九十五番五十八番 振替貯金朝鮮一一三番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、神戸、兵庫、京都、西陣、堺、伏見、郡山、奈良、八木、田原本、高田、貝塚、岸和田、下市、茨木、平野、住吉、御影

東海道 東京、横濱、大磯、靜岡、甲府、津、岡崎、濱松、半田、桑名、名古屋、熱田、四日市、山田、松阪、千葉

東山道 彥根、大津、八幡、長濱、多治見、大垣、岐阜、中津、宇都宮、高崎、伊勢崎、前橋、若松、福島、酒田、能代、土崎、青森、仙台、龜山

北陸道 小濱、敦賀、福井、鯖江、大聖寺、金澤、高岡、富山、伏木、新潟

山陰道 宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、八手、大田

山陽道 姬路、龍野、網干、岩見、西大寺、岡山、味野、牛窓、玉島、笠岡、鞆、倉敷、高梁、尾の道、福山、府中、三原、廣島、呉、小郡、岩國、柳井、平生、府防、山口、德山、萩、長府、小月、下之關、明石

南海道 和歌山、田邊、御坊、新宮、尾鷲、串本、高松、坂出、豐濱、川之石、今治、西條、松山、三津ヶ濱、州本、八幡濱、宇和島、高知、德島、撫養、郡中

西海道 門司、福岡、博多、直方、飯塚、佐伯、大分、別府、臼杵、長洲、長崎、佐世保、唐津、佐賀、若津、牛津、伊萬里、久留米、熊本、鹿兒島、姉井、宮崎

北海道 小樽、函館

台灣 臺北、臺南

樺太 太泊

朝鮮 仁川、釜山、平壤、鎭南浦、元山、群山、木浦、羅州、晉州、馬山、公州、大邱、羅南、新義州、城津、開城、清州、大田

淸國 安東縣

銀行一般の業務精々便利取扱可申候



ビットル散

本舖 大阪市江戶堀 猪飼史郎

各藥店ニアリ

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番◉千六十八番 振替口座京城十六番

朝鮮名産

鶴乃箸

○鶴の骨細工種々

○鶴の羽細工種々

○朝鮮土産品種々

京城本町三丁目 製造發賣元 海市商會 電話二五〇 振替朝鮮四八

京城本町四丁目 特約發賣元 日之出商行 (電話九五六)

京城本町六丁目 特約發賣元 西崎本店 (電話二一〇)



神戸海上運送火災保險株式會社

資本金五百萬圓

出張所 京城明治町一丁目 (電話一五四九)

酒精アルコール

●新荷着

仁川花町一丁目(電話六五〇番)(電略サ)

坂倉支店

專賣局の定價一號金六圓二號金五圓なれども朝鮮内は大安賣

土耳古煙草

エスケーエス S.K.S

京城辻屋、龍山豊田、木浦冲永、馬山西川、公州中泉、平壤盛昌洋行、鎭南浦宇津木

紙と印刷

諸紙 和洋帳簿 印刷 各種製本

諸官衙御用

播本商店

京城本町六丁目 電話百拾番

清正 政宗 正則 釀造元

上酒 小賣壹升に付三十錢

卸賣は特別割引可仕候

淸酒 味淋 燒酎 醬油 並に日用食料品雜貨類

釀造元 中井酒造場販賣部 京城壽町三丁目 電話百七十七番

電話にて御注文の際は一升以上は店員として速達致さすべく候

電話開通 三百七番

國譽足袋仁川發賣元

麻裏草履卸小賣

仁川本町三丁目

松尾商店

▲病室落成▼

▲入院隨時▼

時間 毎日午前八時ヨリ正午迄 月水金午後四時ヨリ六時迄（毎日曜及大祭日休）

京城 旭町壹丁目六十七番戶（電話六九二番）

一般外科診療 鈴木外科醫院

前大韓醫院外科主任 鈴木謙之助

六百六號の注射ワッセルマン氏の梅毒有無の診斷法を始む



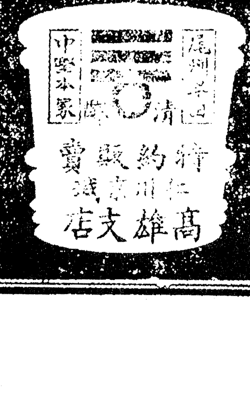
本場精撰

右銘茶各種新物續々入荷に付御小賣とも大勉強仕候間多少に不拘御用命願上候

仁川本町四丁目（府廳通）

田中芳春園

電話四五〇番 振替京城五〇二番



特約販賣 仁川京城 高雄支店

京城西小門通六番戶

入院隨意

菅醫院

電話一三一五番

別製 鐵花味噌賣出



御料理向

仁川本町三丁目

たからや

電話七三七番

◯芙江 公州 間定期出帆廣告

芙江發毎日後一時四十分公州着後六時 公州發毎日前七時芙江着後四時半船内御客様の娛樂用として新聞雜誌寿(?)碁將棋盤等の備付あり

京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ 海州行

六月中 瀛船出帆廣告

安東丸 八日、十二日、十六日、廿日、廿四日

海州丸 六日、十日、十四日、十八日、廿二日、廿六日、三十日

瀛津富里浦屯串行 三宥丸 七日、九日、十二日、十四日、十七日、十九日、廿二日、廿四日

三吉里海倉舊島行 成歡丸 七日、九日、十七日、廿二日

仁川本町四丁目

合資會社 秋田商會船舶部

電話一七三番七五〇番